



『待ちわびて 小春日和に 桜花満開』



# それいゆ 広報

Vol.110

医療法人 同仁会

- 介護老人保健施設 それいゆ  
TEL0577-35-3030
- 桐生クリニック  
TEL0577-35-3880 FAX (共通) 0577-35-3063
- 折茂 医院  
TEL0577-34-5025
- それいゆ訪問看護ステーション  
TEL0577-37-5260
- ヘルパーステーション それいゆ  
TEL0577-37-3360
- 病児保育室 プティそれいゆ  
TEL0577-35-2525
- ケアプランセンター それいゆ  
TEL0577-35-3770
- ショートステイ それいゆ  
TEL0577-35-0710
- 小規模多機能型居宅介護サービス シヤロン・ド・それいゆ  
TEL0577-34-5026
- デイサービスセンター べれる  
TEL0577-36-7077

## 新年度をむかえて

介護老人保健施設それいゆ  
看護介護部長

和賀登 恵子



平素より、介護老人保健施設それいゆをはじめ医療法人同仁会グループの諸サービス事業のご利用に際し、皆様のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

三月中旬まで、感染性胃腸炎に続きインフルエンザの流行でご迷惑ご心配をおかけいたしました。面会制限にもご協力いただきありがとうございます。今後は今まで以上に日常的に感染対策強化に努めることを目標に職員一同、気をひきしめております。

日本の少子高齢化社会は、世界に類を見ない速度で進行中と言われています。現在、それいゆに入所されている九八名中、百歳以上の方は五名・九〇歳以上の方は三三名と超高齢化の現実を感じています。

介護・看護の雑誌を読んでいると「二〇二五年問題」という文字がいたるところに出てきます。この年には介護需要が現在の倍になり介護保険料も倍以上に増えると思われています。この問題とは二〇二五年には一九四七〜四九年に生まれた『団塊の世代』が七六歳〜七八歳となり、後期高齢人口がピークに達することで、要支援・要介護の認定を受けている高齢者の九

割近くは、七五歳以上になります。したがって、二〇二五年には『団塊の要介護世代』が登場することになり、この人々の生活を支える介護サービスを用意できるのか、用意できたとしても介護保険の給付は爆発的に膨らみ、財政的に維持できるのか？ということなのです。

私は病院で長く医療に携わり、あらゆる病態は治療すべきという価値観のもとで考え、行動してきました。老いと病について思うとき、老化という自然のメカニズムを深く理解しそれを尊重した介護・看護の役割を担う必要性について考えさせられます。

この時代背景の中で介護老人保健施設を取り巻く環境が大きく変化しています。今一度、その理念と役割について原点に立ち返り、利用者様個々の状態に応じた満足していただけるケアを目指していきたいと思えます。利用者様の日々の生活がその人らしく、健やかで豊かで安らぎのあるものとなるよう、また施設での生活も楽しく気持ちよく感じていただけるよう、スタッフ一丸となって努めてまいります。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

# 各部署の 取り組み

## 通所リハビリ

それいゆ通所リハビリテーションの平成二十五年度が男女混合席から始まっています。

今年度のスローガン「居心地の良いデイケアを目指す」の一環として、昨年度までの男女別テーブルから席替えをしました。固定席にはなじみの関係ができるという利点がありますが、長くなるという点で弊害も出てくるものです。新しい席で新鮮な出会いを感じてください。そして、「居心地の良いデイケアを目指す」を具現化するために、職員としては①利用者に対して、意識して立ち止まる時間を作り、相手の目を見て最後まで聞き話すよう心がける。②誰に対しても、挨拶をしっかりする。としました。

介護保険制度利用者様に対しては、当通所リハビリの第一の目的であります多種多様なリハビリの実績を報告させていただく機会をつくりますので、ご家族様、ケアマネー

ジャー様、施設関係者の皆様には追って連絡させていただきま

## 二階フロア

利用者様の環境を整え、安全で笑顔のある生活を送って頂く

～個性のあるケアを～

利用者様には住み慣れた住まいから、居住の場を施設へ移されることで大きな不安や寂しさを抱えてみえると思

私たちは、施設での生活の中で一人ひとりを見つめ、感じている不安や寂しさを少しでも埋められる環境を提供したいと考えます。身体的状態の観察や転倒などのリスクを回避する安全な環境作りと共に、利用者様との関わり方、交流の場など居心地のよい生活空間を感じて頂けるよう努めます。

利用者様が安心していつもと変わらない日々を送られる、そして、共に笑顔で過ごせる時間を大切に、一人ひとりが中心である生活を支援していきたいと考えております。

## 三階フロア

私たち三階フロアは今年度、新人を迎え、計十四名のスタッフで利用者様のケアの提供を行っております。

利用者様が安心した健康状態で過ごせる事、そして、日々の施設での生活の中で状態を観察し、一人ひとりの残存機能を生かし、広げられるように医師・リハビリスタッフ・管理栄養士と連携を取り日常生活動作の向上を目指しております。

今年度の目標として「介護の質の向上」を掲げスタッフ一人ひとりが更なる知識・技術の自己研磨に励み、利用者様、御家族様が、笑顔で快適に利用できるフロア作りを目指してまいります。



## 四階フロア

前年度四階では「顔晴ろう(がんばろう) ～笑顔を見るために私達ができる事～」を目標に努力してきました。その結果、利用者様の笑顔に救われる事が多くあったことにとても喜びを感じています。

そして今年度の目標は「安心と信頼されるフロアを目指そう」私達ならできる!」です。私達が利用者様のために何ができるかを考えたところ、ケアはもちろんですが、安心して施設生活を送って頂くことが

様々なことに繋がっていくのだと感じました。

利用者様との関わりは、利用者様の小さな変化から今何をして欲しいかをみることから始まります。それをスタッフ全員が自信を持って援助できるよう頑張りたいと思います。

## 相談室

こんにちは。今年度の相談室の目標は、笑顔で明るく接し、みなさんが相談しやすい環境を整える事、です。

利用者の方々のとりまく環境も変わり、お一人住まいや高齢の方々のみの家庭も随分と増えてきました。遠方住まいの家族様の心配も大きく、悩みも尽きない事と思

それぞれに抱えてらっしゃる悩みや思いを汲み取り、少しでも安心して頂けるよう努力して参りたいと思っております。

我々相談員は、事務所内のガラス張りの部屋におりますので、お気軽に声をかけて下さい。ご相談事は、別場所でも承っております。宜しくお願



相談員 中屋・馬場

### 栄養課

今年度の栄養課の目標は「安全・安心・美味しい食事」で「誤嚥ゼロ！」です。

前年度は、施設で使用しているスプーンを健常者用スプーンから介護用スプーンへ変更することができました。この変更により、利用者様からは「以前よりも食べやすくなった」「在宅に戻ってもこのスプーンを使いたい」との声を。職員からは「介助しやすくなった」などの嬉しい声を聞くことができました。

私たち栄養課では、食事に関して今利用者様が何を必要としているのかを第一に考え、より利用者様に喜んで頂ける食事の提供のために努めていきたいと考えています。

今年度は、安全に食事を食べて頂けるよう食事介助マニュアルの徹底



管理栄養士 佐藤・森

と、安心・美味しいを目標にした献立と食事形態の見直し、そして利用者様の栄養状態の把握に力を入れて取り組みたいと思っています。



### 事務室

今年度の目標

「笑顔で明るい対応」

それいゆへ来所された方とまず最初に対応する場所が事務室です。

利用者様、ご家族様をはじめ、他事業所の方や面会者等、多くの方とのコミュニケーションをとれる場所でもあります。

笑顔で迎え、元気で明るい挨拶をし、速やかに担当者へお繋ぎします。

いつ・どんな方にでも、それいゆに来て良かったと思っていただける対応ができるよう努めていきます。



## リハビリ室の取り組み

主任理学療法士 宇田 輝彦



新緑の色増す季節、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、今年度となり、リハビリ室も新しいリハビリスタッフを迎えて新体制となります。社会人としても、セラピストとしてもスタートしたばかりのフレッシュな新人ばかりですので、なかなか慣れない点も多いかと存じますが、温かく迎えていただければと思います。

現在それいゆでのリハビリテーションは、利用者様一人一人に合わせたリハビリ内容を、身体の状態に合わせて提供させて頂いております。もちろんご本人様のニーズは大切ですが、介護をされるご家族様のニーズもとても重要と考えております。そのため、在宅での生活でお困りの事や問題点、不安に感じていること、お気付きの点など、どんな些細な事でも構いませんので、お申し付け頂ければ幸いです。

### 【新人紹介】

阿多野 慶彦 (理学療法士)

今年度より、理学療法士として働かせていただきます阿多野慶彦です。まだ知識、技術ともに不十分ですが、これから多くの経験を積んで成長していきたいと思っております。また、挨拶を大切にして、信頼関係を築いていきたいです。よろしくお願います。

宇野 みくり (作業療法士)

作業療法士として新しく働かせていただきます宇野みくりです。まだまだ分からない事が多く大変ですが、一日でも早く顔と名前を覚えていただき、元気に明るく皆さんと楽しくリハビリを行っていただけるように頑張りたいと思います。よろしくお願います。

中島 杏奈 (理学療法士)

今年度より、デイサービスセンターれぎみでお世話になります中島杏奈です。学校を卒業したばかりで不安だらけですが、早く職場に慣れ理学療法士の一員として働けるように頑張りたいと思います。(現在老健それいゆで研修をしています。)

# 七 歳 時 記

ひな祭り



節分



お花見



獅子舞



# 小規模多機能型居宅介護サービス シャロン・ド・それいゆ

平成25年3月1日に開設いたしました。高山市では初めてのサービスです。皆様の支援を頂き、良い施設にしていきたくと心掛けています。どうかよろしくお願いいたします。

## 【小規模多機能型居宅支援サービスとは】

『通い』を基本として『訪問』『泊り』のサービスを利用しながら、なじみの職員がいつもの施設で在宅生活を支援します。緊急のサービス利用も可能です。

## 通いの様子

利用者様が楽しく過ごして頂けるように努めていきたいと思っています。

とっても楽しい施設です。きっと喜んでいただけます。皆様の笑顔を見てくださいね！



皆で五平餅を作りました。利用者さんの指導の元で作ったよ！



「あ、美味しい」ペロリと食べました



はりきって作りました！



折り紙名人の方に教えていただきましたがなかなか上手に作れません…。皆様も一緒に作ってみませんか？



昼食のメニューです皆様の越しをお待ち申し上げます

## 《職員紹介》



山下NS



祢直澤Cs



牧田管理者



寺田介護長



山田Cs



砂畑Cs



松原Cs



菅沼Cs



長瀬Cs

○職員一同勉強させて頂き、皆様のお役に立てるよう頑張っています。今後ともよろしくお願いいたします。



介護でお悩みの方、いつでもご相談を受け付けています。見学に来てください。心よりお待ちしております。

# シャロン・ド・それいゆ

TEL0577-34-5026 (24時間対応)  
管理者 牧田 功

# 訪問看護だより

管理者 白川 教子



超高齢化社会の解決策として介護保険制度が施行され、現在、医療介護報酬も変わり、在宅での看取りが増加しているのが現状です。

しかし介護保険制度の中で本質的に大切なことが欠陥しています。人間の寂しさを解決してくれるサービスがないことです。相手がものではなく人と人だからです。

相手の立場になり何を求めているのか：面倒くさいことばかりですが、面倒くさいことをひとつひとつ埋めていくのが私たちの訪問のあり方だと思っています。特に在宅での看取りが多い中、訪問看護の重要性を痛感します。

人は、どんな人でも必ず最後は亡くなります。生きるということは毎年一ずつ歳をとって老いに向かうことです。やがて死に至る、しかし、ただ老いて死に向かつて行くだけではありません。生まれた時に親

に出会って兄弟や祖父母や先生などたくさんの人に支えられ、多くのことを学んで成長していきま

す。最期にはみんなに与えてくれたことを感謝しながら亡くなります。もし、死がなかったら、自分の子供が生まれたときの感動や大切に思



う気持ち、両親や大切な人が亡くなった時の切ないほどの感謝の気持ちを心の底から感じる事ができないと思います。『人生を作っているのは自分の心だからです。』最後の瞬間に『私は私の人生を生きたい。』といえたら幸せです。

人は、生きて来たように幕を閉じる。私も最後の死に直面した時、亡くなった時の顔の表情が人生を表していると感じます。

訪問看護師は死と直面が多いですが、ひとつひとつ同じではないんです。それぞれドラマがあり、ストーリーがあるのです。同じ悲しみでもありません。最期まで死に生きている人に出会い、自分の人生をい

つも考えさせられ、生きることの素晴らしさに気づくのです。その中で、利用者様の人生の中で少しでも訪問看護師として関わらせて頂きたい。『その人らしく生きる』その支援ができればありがたいと思います。



# ヘルパーステーションだより

管理者 大洞 里奈



日頃はヘルパーステーションそれいゆをご利用いただきまして誠に有難うございます。心より御礼申し上げます。

今年度4月より、ヘルパーステーションそれいゆの管理者となりました。大洞里奈です。老健それいゆより異動し、前管理者の寺田光江さんや、諸先輩方のご指導のもと、現在も日々勉強させていただいております。ご利用者様やご家族様、また他の事業所様には、不慣れなところもあり、ご迷惑をおかけすることがあると思いますが、宜しくお願い致します。

さて、新年度を迎えました。私達は、在宅での日常生活を送る上で必要となるケアを行います。しかし、ただケアを行っているだけでは、決して満足できる在宅生活とは言えません。簡単にはいきませんが、「ありがとう」と思ってもらえるよう、もっと利用者様の気持ちに近づき、何を感じ、何が必要なのかを常に考え、大切な一日を笑顔で終えられるよう努力して参ります。

これからも「在宅で暮らしたい」という気持ちを大切にし、安心安全に生活できるよう、スタッフ一同真心込めてサービスを提供させていただきます。今後とも、ヘルパーステーションそれいゆを宜しくお願い致します。



# シヨートステイ それいゆ

主任 西 訓代



今年度、フロアーでは個々に合わせた介護・質の高い統一した介護を行うために「正確な記録」を目標にしました。

記録と聞くところか事務的な感じがするかもしれませんが、ご利用者との関わりがないと書けないものであり、皆で情報を共有するためにはかかせない重要な役割を果たしているものです。前回は「昨日はどうだったかな?」と思った時、必ず記録で、ご利用者の様子や状況、考察(普段の何気ない会話や動作の中からの気付き)を確認します。その情報から個々に合わせ継続出来る事、改善出来る事、異常の早期発見や危険の予測など、必要な介護へと繋げることが出来るからです。簡潔・明瞭で、誰が見ても分かるような文章力を身に付ける事はもちろん、個々に必要な情報が共有出来る、明確な記録を目指しています。

シヨートステイそれいゆは、十六部屋のうち十四部屋が個室で、洗面所とトイレがついており、ご自宅に近い環境で利用して頂くことが出来ます。一泊のご利用や、急なご利用など、環境の変化に慣れず不安も大きいと思いますが、ご利用者の希望、ご家族から家の様子を聞かせて頂くことで、より

ご自宅での生活に近い雰囲気、短期間でも安心して快適に過ごして頂けるよう努めています。また、毎月の喫茶や手作りおやつ、写真(春の高山祭礼物)のような行事も取り入れ、楽しく過ごして頂けるようなサービスの提供をしています。ご利用者、ご家族にまた利用したいと思って頂けるシヨートステイであるよう努力してまいりますので、ご意見、ご要望、ご不明な点、また見学に関してはいつでも声をおかけください。



# ケアプランセンター それいゆ

管理者 高野 聖子

●平成二十五年年度ケアプランセンター事業計画より

私たちケアマネジャーは、利用者様が介護サービスを利用するにあたって、利用者様が何を必要としているのかを正しく知り、それが生活の中のどんな状況から生じているのかを的確に把握し、ご利用者様の能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるように援助計画を立てます。今年度は、私たちは、ケアマネジメントの専門家としての資質の向上と専門性の確立に重点的に取り組みます。そのための情報収集と問題解決能力をつけるために、毎週火曜日に全員で課題抽出のプロセスを確認、意見交換をし、アセスメント力の向上を図っています。

また、三月には、ケアマネジャー一人ひとりが、自己評価を行い、この一年間の自分の目標を立て、それを達成するための研修テーマを決めました。月に一度の事業所内研修の場において成果を発表し、達成状況を確認しています。皆様のご自宅安心して暮らせるように、スタッフ一同、一層の精進をしております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

## ● 新人紹介

水波 陽子



四月から、ケアプランセンターそれいゆでお世話になっております。ご利用者様・ご家族様が、ご病気で状況は変わってしまったとしてもお互いの存在は大切に思える暮らしが続けられるように、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。十三年ぶりに故郷「飛騨」に戻り、関西弁混じりとなってしまった私ですが、ぬくもりあふれる飛騨の言葉にも早くなじんでいきたいと思っております。『医療・福祉・地域が繋がることで、次の世代にも繋がっていく暮らしを支援する。』が、私の目標です。どうぞよろしくお願致します。

井口 亜未



二月七日に第二子となる男子を出産しました。男の子二人の母とい頑張ることが出来ます。年内は育児休暇をいただきますが、また必ず戻ってきますのでそれまで宜しくお願いします。



宿：高野管理者

# 病児保育室 プティそれいゆ



病児保育室 プティそれいゆは、お子さんが病気やけがで保育園や学校へ行けない時、一時的にお預かりする施設です。

お子さんの個性を重視し、家庭的なあたたかい雰囲気の中で楽しく過ごしながら体調を回復できるように、配慮しています。

お帰りの際には1日の様子を記録した保育日誌をお渡ししています。どうぞ安心してご利用ください。

### 営業時間

8時～18時(土・日・祝日、年末年始を除く)

### 利用料金

2,000円(5時間以内1,000円)

### 対象年齢

生後6カ月～小学3年生

### 予約電話

35-2525

## 編集後記

皆様、こんにちは。医療法人 同仁会事務局長の一戸かおりです。平成九年に開設した老健それいゆの広報に私が係るようになって早いもので今年十五年目になります。

この間、沢山の利用者さん、ご家族、職員の方々、地域の皆さんを紹介させて頂き、大変有難うございました。当時は季節の行事を中心に利用者さんなどの様に過ごしてみえるかのご紹介が中心でしたが、近年は変わりゆく介護保険法の中での老健としての取り組み、方向性などを示させて頂いております。

また法人におけるケアプランセンター、ヘルパーステーション、訪問看護、病児保育室など地域の皆様にお役に立てる関連事業所などもご紹介をしておりますが、病児保育室や市内中山町にあるデイサービスセンターへれるはオリジナルの通信を発行、老健で常備しておりますので合わせてご参考下さい。

それいゆの広報は今号で一一〇号目の発行となります。当法人の理事であった故村田正齋先生から《継続すること意義をなす》とおっしゃられた通り今後も皆様に喜んで読んで頂ける広報を発行し続けていきたいと考えております。どうぞこれまでと変わらず温かく見守って頂けるようお願い致します。

(一戸 かおり)

